



# 図書館だより 5月号

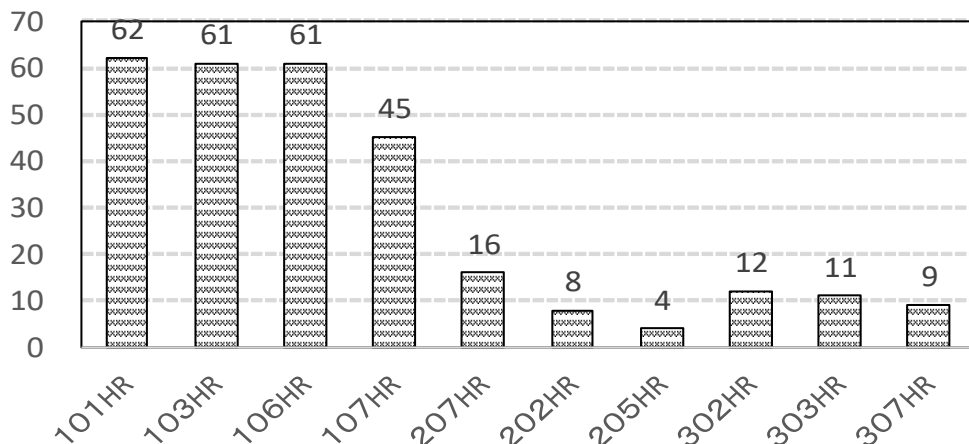
徳島北高等学校図書委員会

## 【図書委員長からのメッセージ】

前期の図書委員を務めることになりました。皆さんは普段読書をしているでしょうか。なかには、苦手という人や好きではないという人もいます。そんな人にも読書をする機会を作ってもらえるよう、図書委員会ではおすすめの本を紹介したり、文化祭での企画展や読書会を開催したりします。できるだけ多くの人に、本に興味をもってもらい、読書を習慣化してもらえたらうれしいです。

また、読書だけでなく調べ学習や自習などにも積極的に図書館を利用してってください。

## 4月貸出冊数 学年別BEST3



4月の貸出冊数校内1位は101HRでした!!1年生は図書館オリエンテーションで多くの人が図書館の本に触れてくれました。3年生は5月に入って貸出冊数が伸びています。次の図書館だよりでの発表が楽しみです。2年生もそろそろグループ研究で文献が必要になります。是非図書館に来て司書に相談してみてください。

※ 図書館利用のマナーさえ守っていれば、図書館での過ごし方は人それぞれ。自習するもよし、本を探するもよし、静かな空間を味わうもよし、カウンターの絵しりとりに参加するもよし。各自で有効な図書館の利用法を探してください。これからも、みなさん一人ひとりの読書の大切さへの気づきの高まりをとおして、学校の図書館から借りる本も増えていくことを期待しています。



## 図書委員のおすすめ本(★印の本は本校図書館所蔵)

★『アルジャーノンに花束を』 ダニエル・キイス 著 早川書房

I05HR図書委員

この本は32歳で幼児の知能しかないパン屋の店員チャーリーが大学の脳手術により、天才的な知能を手に入れると同時に抱える、様々な葛藤や問題を描いた物語です。

私がこの本をおすすめする理由は、人間にとって幸せとは何なのかを考えさせられる本だからです。知能が上がっていく内にチャーリーは自分の置かれていた状況や様々なことに気付きます。チャーリーは知能を獲得しない方が幸せだったのか、学ぶことの楽しさなどを知れたから知能を獲得して幸せだったのか。これから生きていく上で大切なことを学ぶ。ことができる本です。

★『かがみの孤城』 辻村深月 著 ポプラ社

I05HR図書委員

私の母が辻村深月さんの本がとても好きで、勧められて読んだものがこの『かがみの孤城』でした。この物語は、学校での居場所をなくし、閉じこもっていた主人公ころの目の前で、ある日突然部屋の鏡が光り始めたというところから始まります。お城のような不思議な建物にはころ以外にも似た境遇の7人が集められます。なぜこの7人がなぜこの場所に。様々な謎が生まれ、それらがすべて明らかになる時、驚きと大きな感動に包まれます。何度も読み返したくなる大好きな作品です。是非読んでみてください!!

『+1cm・IDEA』 キム・ウンジュ 著 文響社

I06HR図書委員

みなさんは「本」と聞いたら何が思い浮かびますか?恐らく小説が思い浮かぶ人が多いと思います。私がおすすめる『+1cm・IDEA』は、小説ではなく、108編からなる詩集です。詩という難しそうイメージがありますが、この本は絵が多く分かりやすい言葉で表現されているので、初めて詩集を読む人でも読みやすい本です。私が一番好きな詩は「クレソンが何かを知らないなら」という詩です。「やってみたことがないのに、できないなんて決めつけていいの?」という部分にとっても励まされました。「新しい自分になりたい」という人におすすめです。ぜひ読んでみてください!

今後の予定

5/17(水) 臨時休館

5/23(火)~26(金)

蔵書点検のため閉館

5/30(火)~6/9(金)

工事のため入館不可

(リクエストによる貸出や返却は可能です)

現在開催中の企画展

検定応援(数学・漢字・英語検定の本)

2023年がメモリアルイヤーの作家

(寺山修司・カフカ・司馬遼太郎)